

# 共生

奈良県生協連

2022年10月

NO.126



赤い羽根共同募金会吉川正利会長(右)から、若者応援プロジェクト奈良への助成決定通知書を受け取る森会長  
2022年度新型コロナウイルス感染下の福祉活動支援助成の決定通知書交付式  
(写真提供 奈良県赤い羽根共同募金会)

## もくじ

赤い羽根共同募金会・若者応援プロジェクト奈良Ⅱ…	1	奈良県医療福祉生協創立10周年……………	6
理事長交流会……………	2	奈良子ども食堂ネットワーク会員交流会…	7
退任理事「奈良県生協連の思い出」……	3	なら小地域福祉活動サミット2022…………	8
おじゃましました～奈良工業高等専門学校生協の巻～	4	Peace Now! 奈良2022……………	9
コープ自然派奈良創立20周年……………	5	なら消費者ねっと総会記念学習会2022…	10

# 若者応援プロジェクト奈良Ⅱ

## 留学生のみなさんにお届けしました

令和4年度赤い羽根共同募金会の「新型コロナウイルス感染下の福祉活動支援助成」事業



9月3日 11:00～12:00に永井学園(奈良市法連町)で学ぶ留学生64名に食品をお渡ししました。ミャンマーやスリランカなどの東南アジアから来られ、日本語を学んで大学への進学や就職を目指されています。今回お渡ししたのは、日本に来て1～2年目の留学生たちです。生活に困っている方も多いと、元奈良市観光戦略課の職員さんからの紹介を受けて永井学園とつながりました。

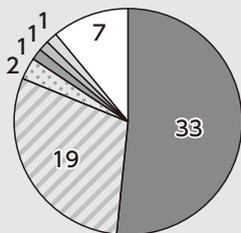


奈良県赤い羽根共同募金会の交付金で購入した食品(白米5kg、インスタントラーメン5食、ツナ缶3缶)と、ならコープ提供の農産物(トウモロコシ、にんじん、玉ねぎ、ズッキーニ、バナナ、リンゴ)を一人ひとりにお渡しし、トマト、靴下、トイレトーパー、タオルも必要な方に用意しました。

何をお渡しすればいいのか、永井学園の方と話し合いながら、特にアンケートは英語に訳していただき、紙に記載していただきました。日本の食品は出身国の2倍から10倍高いとアンケートに答えてくださった方もおられます。アンケートからも、よろこんでいただけた様子が見えました。

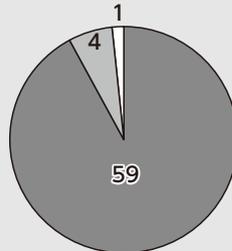


出身国と年齢をお聞かせ下さい  
(20220903永井学園 64名回答)



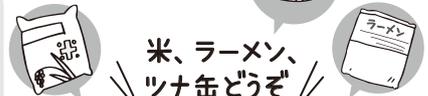
- スリランカ
  - ミャンマー
  - バングラディッシュ
  - ベトナム
  - ネパール
  - 中国
  - 無回答
- 年齢層  
18～22歳 22人  
23～26歳 23人  
27～30歳 9人  
31歳以上 6人  
無回答 4人

食料支援の取組は必要ですか？  
(20220903永井学園 64名回答)



- 今後も必要
- 特に必要ではない
- 無回答

ミャンマーからの留学生19名は、全員が「今後も支援が必要」と回答



米、ラーメン、ツナ缶どうぞ



## 赤い羽根共同募金運動が始まります (10月1日～3月31日)

昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まった赤い羽根共同募金運動は、多くの方々のあたたかい心に支えられ76回目を迎えられます。奈良県に「住んでいてよかった」と実感できる「まちづくり」を進める活動を支えておられます。

奈良県生協連では、コロナ禍で生活に困っている奈良県内の大学生等に食料無料配布を通じて応援する「若者応援プロジェクト奈良」が、令和3年度、令和4年度にこの赤い羽根共同募金会の「新型コロナウイルス感染下の福祉活動支援助成」を受けて活動しています。今までに奈良女子大学、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良大学、奈良佐保短期大学、天理大学の学生や今回の留学生などのべ約3,000人に食料を手渡すことができました。今年もみなさまのあたたかいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 奈良県共同募金会 <http://www.nara-akaihane.com>

寄付金振込先: ゆうちょ銀行(口座記号番号)00980-6-300

(加入者名)社会福祉法人奈良県共同募金会





## 理事長交流会

### を開催しました

9月15日に奈良ロイヤルホテルで理事長交流会を3年ぶりに開催しました。この3年で理事長は、9会員中5名が交代されています。最初に森宏之生協連会長からの挨拶、瀧川潔名誉会長による乾杯の発声後、会員生協の近況を理事長及び理事から報告していただきました。また、今期退任された理事の近況報告や「奈良県ヒバクシャの声」手記集編集委員のコープ自然派奈良上市理事長から手記発行の紹介もあり、和やかな中で閉会しました。

#### 吉田 由香 理事長 (市民生活協同組合ならコープ)

第13次中期計画に基づき農業事業に着手し、五條市で産直生産者にアドバイザーとしてご協力いただきスタートしました。新型コロナウイルス感染により奈良市、天理市、田原本町、河合町、川西町へ役職者が食料品をセットして自宅療養者へ約5,000セットを届けることができました。

#### 橋本 健太 理事 (奈良工業高等専門学校生活協同組合)

学生同好会によるイベントがこの間来ていませんでしたが、かき氷企画を久しぶりに8月に開催しました。いろんなトッピングを楽しんでいただき盛り上がりました。

#### 城本 壘 専務理事 (生活クラブ生活協同組合)

組合員活動の担い手が各地域で不足してきているので担い手を育成していきます。今年15周年を迎えましたが、生活クラブの考え方を新しい組合員に伝えていくことを大切に取組みます。

#### 山原 一志 理事長 (奈良県労働者共済生活協同組合)

「中期経営政策2025～変革と創造」の方針のもとで時代変化と社会的な課題に対し、デジタル技術を駆使して、組合員の期待に応えていくことで私たちの理念を実現していきます。

#### 鶴谷 将彦 理事長 (奈良県立大学生生活協同組合)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、学生、教職員、現場の職員同士のコミュニケーションが取りづらくなっていました。しかし新しい生協を考える会を立ち上げ、学生からアイデアを募り課題克服に向けて一つずつ進めていきたいと思っています。

#### 上市 佳織 理事長 (生活協同組合コープ自然派奈良)

今年は創立20周年で7月に記念式典、11月に新事務所への移転、そして現在記念誌を作成しています。今まで有機農業推進に特化してきましたが、それ以外の活動で環境、福祉なども勉強しながら取り組んでいきたいと思っています。

#### 榎並 憲治 理事長 (奈良県医療福祉生活協同組合)

経営を安定させ、新たにもう一つ診療所を開設したいと思っています。さらに大阪の医療生協で取り組まれている生活困窮者の医療費を無料で診察できることを目指していきます。将来、全国にとどろく医療生協を目指していきます。



### 元奈良女子大学生協同組合専務理事 加藤 由美 (2012年～2021年在任)

このたび2012年から務めてきた県連理事を退任いたしました。長年にわたり皆様には大変お世話になりました。

毎年の県連総会や生協大会など、県連での活動はどれも思い出深いものばかりですが、いくつか挙げるとするならば、やはりコロナ禍の学生たちのためにスタートした「若者応援プロジェクト」でしょうか。未来を担う学生たちのために、フードバンク、県連、地域の生協、大学生協が一体感を持って取り組めたことが素敵でした。食品配布会場でのアンケート結果から、困っていることを言い出せずにいる若者たちがいることも明らかになり、若者たちの実態や社会環境について多くの気づきを得ることができました。

もうひとつは県連30周年のビジョンづくりです。ビジョンの議論は大変難しく、他の理事の方々に議論をリードしていただくばかりでした。しかし今回策定されたビジョンのテーマ「学び・気づき・つながりあい～笑顔あふれる地域共生社会づくりをめざします～」は、私にとって「若者応援プロジェクト」で学んだ実感のある言葉として心からこのテーマに賛同でき、このような社会にしたいと思えるようなものとなりました。これから県連が県下の皆様とともに「学び・気づき・つながりあい」が実感できるような活動が実施されることを願っています。

たくさんの方の事を学ばせていただきありがとうございました。

### 元奈良教育大学生協同組合専務理事 石間 奈穂子 (2012年～2021年在任)

この度、奈良県生協連理事を退任しました。2011年に奈良高専生協の店長になってから11年。皆様には本当にお世話になりました。心から感謝申し上げます。

奈良県連の素晴らしい所は、普段は異なるフィールドで活動する生協同士が、県連の元の一つにまとまっている所です。お互いの生協を支えあい、生協の仲間として取り組んでいること。こういった場を作り続けてきた皆様に改めて敬意を表すとともに、その中の一員として活動できたことを誇らしく思います。

生協学生委員会の学生を、いつも温かく見守ってくださったことも感謝しています。「Peace Now 奈良」の企画は、県連の協力なくては実現も継続もできませんでした。学生たちがキャンパスの中だけでは学べない貴重な体験をさせていただくとき、常に奈良県連が側にいたと感じています。

新型コロナウイルスの影響で大学生協の事業が大打撃を受けた際にも、温かな支援を真っ先にしてくださいました。休業中のパート職員の働く場の提供、ならコープ様からの大学生協への援助金、そして「若者応援プロジェクト奈良」での学生支援の取り組み。奈良県生協連がもっている人や団体のつながりが何人もの大学生の生活を支えています。

私は奈良の地で、異なる生協同士でも、それぞれの組合員のために共に進んでいけることを学びました。この経験をもとに、「人と人をつなぐ」この生協の仕事に頑張ります。

本当にありがとうございました！



### 元奈良県立大学生協同組合理事長 山部 洋幸 (2021年在任)

奈良県立大学生協理事長として私が着任した時はコロナ禍の2年目でした。奈良県生協連の皆様からはコロナ禍で苦しむ学生支援として、「若者応援プロジェクト奈良」の奈良県内大学生への食料品配布活動、会員のならコープ様からは学生の食を助けるとのご意向からご寄付をいただきました。ご寄付に関しては本学生協の理事と話し合い、通常より安く食事を提供し、ただ安くするだけでなく支援を繋げる目的から売上げの一部を県下のこどもの食に対する寄付をしました。これらの活動は生協の共生の理念を具現化したものであり、私が学んだものです。今後は奈良県立大学専務理事として後任の鶴谷理事長を支えつつ、共生の理念の具現化を目指した活動を進めていきたいと思っています。

# おじゃましました // 奈良工業高等専門学校生協の巻

8月4日の夕方、生協同好会の学生さんが、3年ぶりに「かき氷」イベントを開催すると聞き、奈良工業高等専門学校生協に取材に伺いました。

生協食堂に行くと、食堂の入口には「氷」の看板と氷メニューが掲げられ、すでに学生さんが集まり始めていました。夏休みが間近なこともあり、なんとなくワクワクした雰囲気を感じました。



学生さん達が食堂の入口に集まり50名以上の列

## 並んでいる学生さんにインタビュー

- ・同好会に友達がいるので誘われてきました。(1年生)
- ・かき氷が100円で食べられると聞いてきました。ワクワクします。楽しみ!(1年生)
- ・かき氷なんて中学生の時にはできないこと。初めてなのでワクワクしながら参加しました。(1年生)



かき氷1杯をなんと  
100円で食べられます。  
この機会に是非来てみてください!



8月4日 16:00～食堂で開催

### ■メニュー■

イチゴ、ブルーハワイ、メロン、グミ、  
フルーツ、ゼリー、白玉&黒蜜、ポン酢、  
カレー粉、こしあん、そうめん  
個性あふれるメニューをご用意!

同好会の学生さん4人と生協の橋本店長さんたちが、かき氷の準備を始めました。パート職員さんも協力。シロップやトッピング、そうめんも準備。さあ開店です!



左から(1年生)吉田茉莉さん、  
梅崎千紘さん、(2年生)亀岡優花さん、  
明松龍之介さん、橋本健太店長

## 組み合わせは無限大!?

フルーツとポン酢?

ハワイアンとこしあん?



3年ぶりに「かき氷」イベントを再開した生協同好会の皆さんにお聞きしました。2年生2人と1年生2人。コロナ禍で2年間なかなか活動ができなかった同好会。それでも1年生の梅崎さんは「面白そうだなあ」と思って同好会に参加したそうです。リーダーの明松さんは実施したことがある5年生の先輩に聞きに行き、メニューは自分たちで考えたそうです。109杯かき氷が売れました。忙しかったけど達成感からか晴れやかな顔が印象的でした。

# コープ自然派奈良創立20周年記念式典



7月10日に奈良県文化会館小ホールでコープ自然派奈良創立20周年記念式典が開催されました。当日、農家レストラン「粟」の三浦雅之代表が、奈良の食と農、文化などをテーマに、コープ自然派奈良と地域の未来についてお話しいただきました。講演には87名が参加されていました。

三浦雅之さんは「はじまりの奈良」で日本の食文化を継承する仕組みや文化的な思いを継承できないかと取り組まれています。それを7つの風をコンセプトに表現されています。すべてのものを生み出す源が「風土」であり、そこから生まれる農業や漁業は「風味」になり、その中で生まれる景観が「風景」です。培ってきた「風習」、職人仕事から生み出される「風物」、生活工芸、生活様式で

ある「風俗」、これら6つの風の中に育まれる人々の価値観が「風情」であると説明されました。農作物は、その気候風土だけでなく生活文化や人々の心持ちや性格に密接に関わっています。

また、食の安心・安全では栄養価が過去と比較して激減し、土壌がやせ、汚染が拡大しているとのことでした。

大和伝統野菜の調査や栽培を通じて伝統野菜の共有化をライフワークに取り組まれています。種の保存の取り組み事例として、粟の6種類の種を確保されていることやSEEDBANK（種の貯蔵庫）活動の紹介など興味深い内容でした。

歴代の3人の理事長（宇野さん、辰巳さん、上市さん）によるトークセッションでは、組合員理事の視点で設立時の苦労話、食へのこだわり（産直米開発）、組合員活動（源である家庭とくらしを守ることを前提にやるべきことをやっていく、絶対無理をしない）など振り返りがされました。講演後は、生産者さんの販売会があり、皆さん買い物を楽しまれました。

三浦雅之氏（プロジェクト粟代表、㈱「粟」代表取締役社長、NPO法人清澄の村理事長、近畿大学農学部非常勤講師）

## コープ自然派奈良は 創立20周年を迎えました



生活協同組合コープ自然派奈良  
理事長 上市佳織



2002年、本当に安心できる食べものを求めて集まった人たちがコープ自然派奈良を立ち上げました。当初1,500名だった組合員は16,000名となりました。順調に伸長し無事創立20周年を迎えることができたのは、ひとえにここまで支えてくださったみなさまのおかげです。深く感謝申し上げます。

この20年を少し振り返るだけでも、平和や環境を脅かす出来事と、なんとかそれに対抗しようとする人々の努力がいくつも思い浮かびます。コープ自然派では、生産者とともに学び、支えあうことで有機農業を推進し、食の安全を守る取り組みを続けてきました。農水省は「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までに有機農業の取組面積を25%・100万haにすると発表、ようやく有機農業へ追い風が吹きはじめたように感じます。国産オーガニックを拡げることで、地域の食と農と環境を守ることが目標です。

協同のチカラは、そこに集う人のチカラ。ひとりひとりのチカラを持ち寄って、平和な社会の実現に向けて、大きく、高く、やわらかく、ネットワークを広げていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

# 奈良県医療福祉生協創立10周年記念講演



8月13日にコープみみなし研修室で奈良県医療福祉生協創立10周年記念講演が開催されました。医療生協八尾クリニック大井通正所長（医療生協かわち野生活協同組合）の講演会に36名（会場24名、オンライン12名）が参加されました。

講師の大井所長は、京都民医連九条診療所で調剤業務や当直アルバイトをされていた薬学研究科の大学院生時代に、所長先生の往診に同行しました。その時在宅患者に向き合う所長の姿を見て「障がいを持つ病人に尽くせる医療に携わりたい」と医師を志されました。現在、八尾クリニックで健康づくりと健診受診を中心に健康づくりから

在宅看取りまでの医療・介護サービスを提供されています。

講演では、「患者と家族に寄り添う在宅医療～死ぬまで生きる意欲を支える～」をテーマに在宅医療の取り組みを紹介いただきました。

在宅医療は、在宅療養支援診療所（24時間365日サービス提供）で在宅患者には通常月2回の定期往診（訪問診療）と臨時往診を行っています。在宅患者は全て障がいを持つ方で半数以上が寝たきりですが、家族介護者なし、独居患者でも適切な在宅療養支援（在宅医療＋在宅ケア）があれば在宅療養が可能です。在宅医療のめざすものは、日常的な医学的管理（リスク管理）に加え、①安心安全な療養条件をつくる ②リハビリテーション（生活の質の向上と生きる意欲を支える）としています。特にリハビリテーションでは自立度を高め「生活の質」の向上を目指す訪問リハビリが主要課題であり他職種の協力を基に取り組みられています。生活空間を広めるために、ベッドから他の場所（屋内・屋外）へ。そして患者会などの社会参加、情報が得られ意思が伝えられる場への参加などにより機能低下が予防できるそうです。患者にとって「生きる意欲」とは、ひとりぼっちでないと考えること、人との「きずな」を実感すること、笑うことで五感が刺激されること等により得られます。

また、在宅医療でめざすものは、「やさしさ＝寄り添う意志」です。在宅患者にとって在宅医療従事者（私たち）は人生の限られた日々に出会う数少ない他人です。他人である私たちが患者にできることは、究極のところ「やさしさ＝寄り添う意志」を最期の日まで届け続けることに尽きます。

大井所長は診療現場の体験をもとに熱く語られました。「やさしさは見えない薬」と医療の根源にふれるこの言葉を最後に締めくくられました。

## 奈良県医療福祉生協 創立10周年

奈良県医療福祉生活協同組合  
理事長 榎並憲治



奈良県で初めて「いのちと健康をまもる生協」として誕生して10年、奈良県医療福祉生協は、関係団体、地域の皆様、組合員の皆様のたゆまないご支援を頂き、「親切でよい医療」の実践を行ってまいりました。

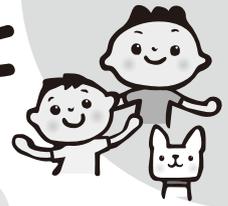
昨年はコロナ禍の中、県下でも格差と貧困が顕著に表れ、「パートで働くも14年間無保険の方」「母子家庭で非常勤収入が激変した方」など困りごとの相談が相次ぎました。その為に国や県などに社会保障制度の改善を求めるために「くらしの相談会」を設置し活動、また診療所へのかかりやすさやご要望をお聴きする「診療所懇談会」を設置して活動をしてまいりました。私たちは医療福祉生協の理念「健康をつくる・平和をつくる・いのち輝く社会をつくる」憲法9条（平和主義）・13条（幸福追求権）・25条（生存権）が活きる社会、くらしが守られ「誰もが健康で居心地よくくらするまちづくり」を役職員一丸となって推進してまいります。

皆様のさらなるご支援をお願い申し上げます。10周年のお礼とご挨拶とさせていただきます。

## 奈良こども食堂ネットワーク 会員交流会



# 「コロナ禍からの活動と 変化するこども食堂」



奈良こども食堂ネットワーク会員交流会が「コロナ禍からの活動と変化するこども食堂」をテーマに、7月11日14:00～16:30大和信用金庫 八木支店 第1会議室でオンライン併用で開催されました。

奈良こども食堂ネットワークが設立して、5年。コロナ禍でのこども食堂の活動は、カタチを変えてそれぞれ出来ることを、また、何が子どもたちや周りの方々への手助けになるかと悩みながら進められています。コロナの感染状況の終息が見えないまま、これからの活動についてのお悩みの声も多く聞こえてくるようになりました。そこで、ネットワーク会員が、お互いの近況やこれからの事を語り合える場として、会員交流会が開催されました。



(提供：奈良県社会福祉協議会)

日頃から奈良こども食堂ネットワークの活動にご支援をいただいている森田記念財団と奈良県こども家庭課から挨拶があり「県内こども食堂の活動概況」についてはネットワーク事務局の奈良県社会福祉協議会から報告がありました。

その後、「運営のこと」「資金のこと」「スタッフ・ボランティアのこと」「場所のこと」「寄付のこと」をテーマに、グループワークによる交流が行われました。グループごとに活発に、意見交換しながら、今後活動される際のヒントを受け取っていただきました。食堂運営者58名(会場45・オンライン13)はじめ合計69名が参加しました。奈良県生協連も、ネットワークの共同事務局として、当日の準備段階から参加しました。

### 「こども食堂」ってなに？

こども食堂は、地域の大人たちが、こどもを真ん中にした

居場所をつくる取り組みです。

あたたかなご飯を囲み、

地域みんなでこどもを育てていく

場として広がっています。

だんだんと顔が見える関係ができることで、

こどもとこども、

こどもとおとな、

おとなとおとな、

世代や役割を超えて混ざり合い、

お互いに気にかけてあう関係ができる、

つまり地域づくりにもつながります。

活動も名称も多様ですが、

「こどもを真ん中に」という思いを大切に、

創意工夫をしながら取り組んでいます。

あたたかなご飯があり、

こどもが大切にされ、

安心できる地域の居場所がある、

それが「こども食堂」なのです。

(奈良こども食堂パンフレット…)

奈良こども食堂ネットワークより



奈良こども食堂ネットワーク(公式ホームページ)

<https://kodomonara.com/>



## 第11回 なら小地域福祉活動サミット2022

8月26日、奈良県社会福祉総合センターにて、第11回なら小地域福祉活動サミット(主催:社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会、共催:奈良県)が自治会やボランティア・NPO等の活動者、民生児童委員など約300人が参加され開催されました。今年のテーマは、「空間とコミュニティ」。多様な地域住民が暮らす中で、距離感・空気感・共感できる空間づくりを捉え直し、多様性を認め合う地域のつながりのあり方について考える機会になりました。

基調講演ではウスビ・サコ氏(京都精華大学/全学研究機構情報館長)が「人と人がつながる地域の未来～空間で育むコミュニティ」をテーマに話されました。多様な活動が存在しているからこそ「曖昧な空間」をつくることで、共生・共存できることを、日本滞在31年の体験と事例を基に紹介されました。その後、①地域に密着した活動の魅力 ②地域のくらしを豊かにする取り組み ③地域福祉活動の可能性 ④活動者によって表情の変わる安心の空間づくりのテーマで4分科会に分かれ、県内各地の活動報告があり、意見交換が行われました。

### 〈各分科会報告団体〉

- ①第一分科会… いろりの和、東和苑ささえ愛会、ネットワークひまわり、しもまきネット
- ②第二分科会… 筒井順慶顕彰会、花香山西福寺、ひかりが丘自治会
- ③第三分科会… ならコープ下市ステーション、しもいちこども食堂「あいあい」、高原健康作りの会、ぬくもり協議体いちたつマルシェ
- ④第四分科会… 奈良市「ねどこ」関係団体(ブレイク、まんまの会、ふぁ～ちえ、ハートハース、COCO+、奈良市社会福祉協議会)

## 第33回 近畿地区生協・行政合同会議

「つながる力で安心してらせる地域社会づくりをめざして」をテーマに、第33回近畿地区生協・行政合同会議が8月24日にオンラインで開催され46名が参加しました。

毎年行政と生協関係者が一堂に会し交流するもので、奈良県からは文化・教育・くらし創造部消費・生活安全課澤田真樹主事及び奈良県生協連が参加しました。

厚生労働省社会・援護局消費生活協同組合業務室長の井上宏氏から、新型コロナウイルスの感染拡大により経済・社会活動の再開を目指す中で、生協はくらしを支える事業として社会貢献していること、各施策の推進を通じて地域共生社会の実現に向けて互いに助け合える地域を目指していることから、生協と課題把握の共有が必要であり、地域社会を支える担い手として協同組合への期待を述べられました。

また、「地域共生社会実現に向けた取り組みや地域福祉に資する取り組み事例」の収集の要請が厚生労働省からあり、今後集約して厚労省HPで生協の取り組みとして公表する予定であると話されました。

(厚労省HP:生協が行う地域福祉の先駆的な取り組み事例で検索できます)

特定非営利活動法人 全国こども食堂支援センターむすびえ理事 渋谷雅人氏が「ひとりの明日を変えるこども食堂～アンケートから見える運営現場の現状～」をテーマに報告されました。こども食堂は2016年319カ所でしたが、2021年には6,014カ所になり、しかも2020年から2021年にはコロナ禍でも1,054カ所増えています。こども食堂は生活困窮のイメージがまだあり、特別な方への支援の場とされていますが、多世代交流拠点として期待されており、つなぐ力を持っていることを一人でも多くの方へ伝え活動の認知を高めていきたいと話されました。6月に実施したアンケート結果では、一堂に会する会食形式でのこども食堂の開催は約1/2まで回復したことや、物価高騰で食事内容等への影響を受けていること、ウクライナ避難民の方への支援5%(寄付集めの拠点をしていること)の報告がありました。

むすびえは、これからも「こども食堂の支援を通じて、誰も取りこぼさない社会をつくる」をビジョンとしてこども食堂を通じて、多くの人たちが未来をつくる社会活動に参加できることを目指されています。

その後、①「福井県の消費者教育の取り組み」(福井県県民安全課) ②「地域の拠点ならコープ下市ステーションの取り組み」(市民生活協同組合ならコープ) ③「大学生協のコロナ禍における様々なつながりの取り組み」(大学生協事業連合同関西・北陸地区) ④適格消費者団体消費者支援機構関西(KC's)の活動報告がありました。



渋谷むすびえ理事

## Peace Now! 奈良2022

## 「平和のつながり」をみんなで「探し」広げる

“Peace Now! 奈良2022”が、6月19日 12:00～18:00 奈良教育大学 2号棟教室とキャンパスを会場に開催されました。コロナ禍の中でしたが、学生委員(実行委員)含め計28名が参加しました。

主な内容は、

◆開会式、アイスブレイク ◆「ぴーなら図書館」

◆フィールドワーク ◆アウトプット

大学生協では、よりよい大学生活、社会の発展のために平和について考える体験型学習プログラム「Peace Now!」が全国各地で行われています。この企画に共感し奈良だからこそ感じられる、考えられる“平和”をみんなで学ぶために「Peace Now! 奈良2022」企画を通して「平和のつながり」を皆で探してそれを広げる…ことを目的に開催されました(開催要項より)。

## それぞれの内容及び狙い(開催要項より)

◆「ぴーなら図書館」…平和についてのトピックがたくさんある中から、自分の興味のある平和や面白い観点だと思った平和を自分たちで冒険して探しに行きます。これは身近な平和について深く知る時間になります。

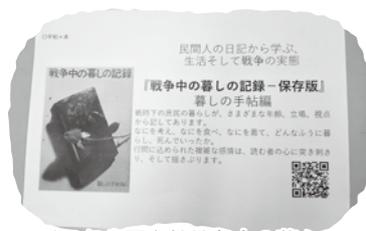
今年のテーマは、平和×「動物」「遊園地」「ファッション」「食べ物」「本」「お寺」「おまけ」「映画」「観光」

◆フィールドワーク…奈良教育大学とその周辺にある戦跡を見て回ります。実際に見て回ることで、当時の様子や時代背景に思いを寄せて、現代の平和のあり方を感じる時間となります。また、実際にあった歴史を見て感じることで平和とは何かを考える時間となります。実行委員が分担して各戦跡の前でフリップを使って説明しました。主な戦跡は、「弾薬庫」「営庭」「吉備塚とその横のレンガとクヌギの大木」「糧まつ倉庫」「北門」「野仏集場」「酒保への階段」「奈良聯隊碑」「聯隊道路」など。

◆アウトプット…KJ法をアレンジして付せんに書き出して次のようにテーマと手順で今日学んだことを深めあいました。「学んだことや感じたこと」を付せんに書こう⇒なぜ書いたのか伝えよう「印象に残ったエピソード」「その単語からどんなことを考えたか」⇒いくつかのグループに分けてみよう⇒グループのつながりや関わりを考えて書いてみよう⇒これまでに出てきた話題について話し合ってみよう(グループの中でとらえ方が違ったワード・立場を変えてみるなどすると違った見え方ができるワード)



ぴーなら図書館



ぴーなら図書館戦争中の暮らし



糧まつ倉庫



野仏集場



弾薬庫



奈良聯隊記念碑



今日学んだことを深めあった



## 特定非営利活動法人なら消費者ねっと 総会記念学習会2022



### 阿南久さん講演内容

#### 愛と思いやりの地域づくり

消費者被害の防止に最も大切なものは何か、それは地域づくりです。地域づくりには思いやりとたすけあい不可欠です。「誰一人取り残さない」とする国連持続可能な開発目標SDGs17ゴールを通してみると、貧困、飢餓、ジェンダー平等など、私たちの社会はあらゆる矛盾と山積する課題を抱えています。これらに目を向け思いやりとたすけあいで克服していく必要があります。消費者問題も同様です。昨今の不安につ

け込んだ悪質商法による消費者被害が増えています。消費者被害の未然防止のためには消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）において地域連携を深めていくことが求められます。また、団体訴訟制度も被害の未然防止に重要な役割を果たします。この制度は消費者の運動によって作られ、維持され発展してきました。これは国が定めた制度ですがこれらの活動に対し、国からの支援は何もありません。消費者スマイル基金は地域で被害防止や被害救済活動をしている団体を支援するため立ち上げられました。寄付金を集め、まだ十分とはいえない金額ですが毎年度適格団体、特定適格団体、適格を目指す団体へ助成金をお渡ししています。また当基金では、制度とそれぞれの団体の成果をもっとわかりやすく消費者に発信したいと考えています。また団体間の情報交流も図れるよう方法も検討します。消費者基本法では、基本的施策の充実のための消費者団体、行政の役割・責務に触れ、地方の重要性をうたっていますが、毎年度の地方交付金は減額され続けています。もっと声を上げる必要があります。消費者庁も理念や行動指針が達成できているのかよく見ておくことが大事だと思います。

なら消費者ねっと、ホクネット、京都消費者契約ネットワーク(KCCN)、KC's 等各団体の活動をWEB サイトの紹介を交えながらお話しいただきました。

「おしえて阿南さん！  
消費者被害から  
あなたを守るために」が  
開催されました



7月16日奈良県文化会館小ホールにおいて特定非営利活動法人なら消費者ねっと総会記念学習会2022「おしえて阿南さん！消費者被害からあなたを守るために」が開催されました。奈良県消費・生活安全課中森 功征課長、奈良県消費生活センター 城山 二郎所長をはじめ、県行政や関係機関、消費者団体など54人が参加されました。記念学習会では元消費者庁長官、認定NPO法人消費者スマイル基金理事長でもある阿南 久さんの学習講演をお聴きしました。



講師：  
阿南 久さん

元消費者庁長官、認定NPO法人消費者スマイル基金理事長、消費者市民社会をつくる会・ASCON代表理事、ならコープ理事、横浜消費者協会理事長

## なら消費者ねっと活動報告

### 「結婚式場のキャンセル料」

理事長 北條 正崇 弁護士

これまでの取扱事案から、2019年の結婚式場のキャンセル料の事案をピックアップし報告されました。これはスマイル基金助成金をいただいた事案だそうです。



北條理事長

### 「公共施設託児所の同意書」

検討委員長 竹内 大敬 弁護士

消費者利益を害する内容の同意書にサインをしないと託児サービスを受けられない、というケースで申入れを行い、事業者は申入れに従って同意書の使用を取り下げた事案の報告がありました。



竹内検討委員長

# 県連日誌

## 7月

- 8日(金) 関西消費者団体連絡懇談会  
10日(日) コープ自然派奈良創立  
20周年記念式典  
11日(月) 奈良子ども食堂ネットワー  
ク会員交流会  
12日(火) 奈良防災プラットフォーム  
連絡会  
14日(木) 第2回奈良県生協連理事会  
15日(金) 第1回近畿地区生協府県連  
協議会  
16日(土) なら消費者ねっと総会記念  
講演会(後援)  
20日(水) 奈良県農業再生協議会  
22日(金) 天理大学フードパントリー  
22日(金) なら消費者ねっと理事会

- 28日(木) 日本生協連地連運営委員会、  
県連活動推進会議  
29日(金) 奈良県労働者共済生活協同  
組合通常総代会

## 8月

- 2日(火) 憲法学習会打ち合わせ  
3日(水) ピースアクションをすすめる会  
10日(水) 生協組合理事交流会実行  
委員会  
13日(土) 奈良県医療福祉生協創立  
10周年記念講演会  
24日(水) 第33回近畿地区生協・  
行政合同会議(福井)  
26日(金) なら消費者ねっと理事会

- 27日(土) 第11回なら小地域福祉活動  
サミット2022

## 9月

- 3日(土) 永井学園フードパントリー  
7日(水) ピースアクションをすすめる会  
14日(水) 奈良県のヒバクシャの声  
手記集発行  
15日(木) 第3回奈良県生協連理事会  
・理事長交流会  
20日(火) 奈良防災プラットフォーム  
連絡会  
21日(水) 日本生協連県連活動交流会  
21日(水) なら消費者ねっと理事会  
29日(木) 日本生協連地連運営委員会

お知らせ

## 憲法学習会

なぜ、今、憲法を変えようとしているの？

～何を変えるの？ 私たちの暮らしにどのような影響があるの？～

改憲をめぐる議論がすすめられ、私たちはその内容について理解できているのでしょうか。  
憲法を学び、様々な疑問について解消しましょう。

日時：11月26日(土) 14:00～16:00

会場：ならコープ本部1階会議室(奈良市恋の窪1丁目2-2)

講師：伊藤 真弁護士(法学館憲法研究所所長)

定員：会場80人 オンライン(Zoom)90人 参加費：無料

申込・問合せ：ならコープ組織部 0742-45-7884(月～金・9時～17時) 締切：11月18日(金)

実行委員会：奈良県生協連、ならコープ、奈良県医療福祉生協、ならコープ労働組合、ならコープ平和の会



## 編集後記

田舎の古民家なため、保管スペースが多い分、片づけたのに何から手を付ければよいのか苦慮しています。断捨離や収納の記事を読み漁りながら休日合間に片付けに没頭中。服、書類、食器が上位らしいが「後でしまった」とならないようにしたいものです。(弘)

最近「失敗しないためのジェンダー表現」を読んだ。女医・女社長があつて男医・男社長がないのは？このことを職場で話題にすると、「私たちは以前から言っている」と反撃された。その後の話題で、「うちの主人が！」思わず、エ!!(和)

フードバンクの作業の際、食料品を取りに来られる市町村協さんにお聞きすると、困窮している方の人数も増え、深刻さが増しているとのこと。電気もガスも止められている方にはすぐに食べられるものをと、急遽、お米やレトルト食品や缶詰を追加。景気なんてちっとも良くならない。(順)

暑かった夏も終わり、やっと朝夕涼しくなってきました。ベランダのブルーベリーの枝切りをしようとはさみを持ったはいけれど、どの枝を切ればいいのか：「え〜い〜」と思いつつ切ってしまいました。来年が心配です。(佳)